

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	てるい しょうざぶろう		
氏名	照井正三郎		
所属			
役職			
活動エリア	岩手県、千葉県		
連絡先	住所	〒	278-0053 千葉県野田市五木新町35番4号
	電話番号	TEL(04)7129-1902 携帯090-1128-6534	
	メールアドレス	terui@e-mail.jp	
キャッチコピー			
自己PR	学生時代に経営学とマーケティングを学び、実務的には商品企画、知的財産創出を実践。そして一貫して経営戦略との中に知的財産戦略を通じ、実践してきました。知的財産を創出できることとそれを経営に創出するかが私のめざし実践してきました。		
関連ホームページ		名称	アドレス
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	岩手県花巻市出身 ◆昭和41年度 株式会社紀文入社 マーケティング本部商品企画室 ◆昭和60年度 特許法務室長就任 ◆昭和61年度 ハーバードビジネススクール夏季講座受講「企業再生手法」学ぶ ◆昭和62年度 研究開発室長就任 ◆平成04年度 「取締役就任」 事業開発本部長 ◆平成13年度 社団法人日本食品・バイオ知的財産権センター理事長就任 ◆平成23年度 知的財産功労賞（特許庁長官表彰）		
3. 取組分野			
観光			
移住・定住・関係人口			
● 農林水産業	大豆、雑穀、ジビエ(鹿) の6次産業化を活かす企業アドバイス		
● 起業支援	「知的財産の創出」 知的財産を生かす企業アドバイス		
まちなか再生	(
集落再生	(
環境	(
● その他	知的財産創出と活用を生かす人材育成 6次産業化・中小企業再生化		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家 (活用助成)	◆2010年度 岩手県花巻市「雑穀活用メニュー創造」		



5. 取組内容・実績

取組内容・実績

【取組事例①】

- (1)事業名 :大豆飲料(豆乳)の開発
 (2)対象地 :豆乳の全国展開
 (3)事業目的:飲みにくかった豆乳を美味しい健康飲料として開発
 (4)事業内容:飲みにくい原因が「製造工程と原料である大豆の成分」にあるものとして追求した結果が見えてきたものである。
 豆腐製造の副産物で飲みにくかった豆乳を「美味しい健康飲料」として生まれ変わった「豆乳」として普及に取り組むこととなった。
 以上は、私が時代から取り組んできた「知的財産創出と活用法」を生かすことができました。
 (5)事業による成果:国内で2000億円の市場拡大に貢献した。

【取組事例②】

- (1)事業名 :豆腐製造の生産性向上
 (2)対象地 :地域産業(群馬県)から地域拡大(関東地域)へ
 (3)事業目的:地域産業と言われていた豆腐産業を生産性向上による豆腐販路拡大を目指す
 (4)事業内容:従来の豆腐製造法を見直し生産性向上を実現、結果販路を飛躍的に拡大できた。
 豆腐工程は、手作り、バッチ製法が中心だったが、自動化・連続化(連続工法)を極限まで採用した結果。
 (5)事業による成果:極限までの自動化連続化によって想像以上の生産性が可能となった。

【取組事例③】

- (1)事業名 :自社の得意技術(コアコンピタンス)の活用
 (2)対象地 :全国
 (3)事業目的:健康財に大切な高純度素材の開発
 (4)事業内容:高収益商品の開発・企業体質の強化。
 (5)事業による成果:高純度多糖類の素材開発とそれらの活用による高収益商品の開発が可能になった。
 高収益事業が告げなる新分野も可能となった。

【取組事例④】

- (1)事業名 :
 (2)対象地 :〇〇県 〇〇村
 (3)事業目的:
 (4)事業内容:
 (5)事業による成果:

※上記以外の取組内容・実績 北限柑橘類の6次産業化(岩手県陸前高田市) 愛が模様系事業